「季節の花 300」
http://www.hana300.comより
（写真・説明文引用）

向日葵
（ひまわり）
花言葉…憧れ、あなただけを見つめるなど

北アメリカ原産。16世紀にイギリスに伝わり、「太陽の花」と呼ばれ始めた。ロシアの国花。名前は、花が太陽の動きにつれてまわることから”日まわり”。しかし実際には、「花首の柔らかい、つぼみのときだけ昼間、太陽の方向を向いて夜に向きを戻し、成長して花が咲いてからは東を向く」、というのが本当のようだ。種子は食用になる。種子から採った油は石鹸や塗料の原料になる。茎や葉は家畜の飼料となる。

花のお便り

2019.8　No.158

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

時代と共に印刷物の基本形も多様となり、美しさの定義も変化してきました。特に名刺、挨拶状などは最も顕著となります。今から40年前頃の、活字を使った活版印刷の時代は、名刺の多くは縦書きで、クワタやインテルで形を整え、ほぼ固定した美しい形があり、挨拶状もしかりでした。その後写植の時代を経て、デジタルへと変化するなかで、型にはまった堅苦しさを解き放つがごとく、多様な印刷物が登場するようになりました。しかし、活版印刷の整った形の美しさは、未だに形骸化することはありません。

※クワタは活字と同じ錫と鉛の合金で出来た、字間などを空けたり詰めたりする部品。インテルは金属と木製があり、主に行間を調整する場合に使用する。

名入カレンダーの発注はお早めに

近頃珍しい長梅雨がやっと終わり、太平洋高気圧もすこしずつ元気になってきました。8月に入れば、7月の低温をカバーするように、太陽が燦々と照りつけることでしょう。「まだ8月だよ。カレンダー！いくら何でも早すぎない」と皆さんの声が聞こえてきます。ところが、カレンダー業界は8、9、10、11月が最盛期で、この4ケ月で一年間の売上を賄なってしまいます。そんな訳で弊社も8月から臨戦態勢となります。カレンダーの特徴は、事務所・工場などのどこからも良く見える場所に、一年間掲示されることです。価格もリーズナブルで、これほど継続的して宣伝効果のある商品は他に類をみません。作成希望のお客様には、連絡いただければ各メーカーの見本帳を持参し、相談させていただきます。もちろん納得のゆく料金も提示させていただきます。遅くても9月中旬までに連絡いただければ幸甚です。

気まぐれエッセイ　20代の投票率低い

からぴょん▶

参議院選挙は「自民党の勝利、過半数確保」との見出しが踊る。だが、以前ほどの勢いはない。勝利した政党はどこなのかはっきりしない。一方、今回の政党の乱立にはため息さえ出る。票が散らばり野党には不利となる。これでは政治に興味があるか、政党の主張を理解している人でなければ、投票先を決めることも難しい。おそらく、なんとなくあの人がいい。人から頼まれた。ネットの情報との人も多いのでは。新聞を購読する若者は少ない。ネットの情報は、自分の興味に偏向する傾向もあり、視野が狭くなる。先日もある若者と話したら「俺たちは年寄りのために働いているようなものだ」との主張。いつの間にか若者と高齢者が分断され、たがいに敵同士にされている。確かに若者には未来が開けた社会ではないようだ。労働者の1/3が非正規雇用で働いている。当然年金を収める人は少なくなる。これでは国の年金収入を賄うことは不可能だ。働き方改革は残業を減らすだけでなく、働き方を正規雇用にして、収入を上げ生活基盤を健全にすることを優先したら。少子化にも一定の歯止めもかかるのでは。

みやざき印刷ホームページにて
気まぐれエッセイ随時更新中！

弊社ホームページのブログにも気まぐれエッセイを掲載しています。
よろしければ左記QRコードよりアクセスしてご覧ください。